

お座敷で学ぶ上方舞 2022 夏

2022年6月25日(土) 14:00~16:00 第三支部研修 終了報告

梅雨真っ只中、雷雨の天気予報を覆し、気温32度を超える真夏のような暑さの中、「お座敷で学ぶ上方舞 2022 夏」が京都で実施されました。当研修は昨年9月にコロナ禍で延期となりましたが、前回もお申し込み頂いた方々を含め、今回、定員25名のお申し込みを頂きました。あいにく当日ご参加頂けない方もいらっしゃいましたが、関西のみならず、遠くは北海道、関東、中部からも多くのご参加があり、25名(JGA正会員19名、非会員4名、委員2名)での実施となりました。会場は、四条烏丸からほど近い呉服屋さんのお座敷「玄想庵」をお借りし、浴衣など和服姿でご参加頂いた方も多く、京都らしい「和」の研修となりました。

上方舞吉村流師範の吉村奈尾氏を講師に迎え、まずはお座敷でも人気の「京の四季」を目の前でご実演いただき、またその振りや歌詞についてご解説を頂きました。続いて、参加者が実際に体を動かして、お扇子の使い方や、基本的な手や足の動きなどをご指導いただき、目で見るだけではわからない、舞の難しさを体感しました。その後、上方舞の成り立ちや特徴、舞と踊りの違い、日本の舞の特徴や魅力、外国人に説明する際のポイントなどについて、先生が外国で舞踊を習得されたご経験や、参加者からの質問への回答を交えながら、お話をお伺いすることができました。「上方舞」という言葉に馴染みがなかった参加者にもわかりやすくご説明いただき、目で見て、体験して、聞いて、あっという間の二時間でした。



ご参加の方々からは、「実演後に、その場で意味を説明してもらえてよかった」「いかに体幹が大事かがわかった」「興味深いお話ばかりでためになった」などの感想を頂きました。この研修を通じて学んだことを、一日も早く実践の場で活かす日が訪れますようお願いしております。

第三支部 研修担当一同